

# 平成 29 年度事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

## はじめに

『子供の時代に子供らしい体験を重ねること、四季折々の変化を体で感じながら心を耕していくことは、人間が成長していく上で欠かせない貴重な財産であるに違いない』

この財団設立の“人づくり”の理念の基、昨年から塾名を「子どもまちなか生き物塾」と改称し実施いたしました。

本年度についても、引き続き、札幌市が推進する生物多様性の保全に関する活動の趣旨に照らして、「かけがえのない自然を、人間の知恵で、後世に永く残せるように、何をなすべきなのか」を子ども達と共に考えるプログラムを、守屋 開先生を講師として「子どもまちなか生き物塾」“精進川の自然に遊んで科学する”、“精進川の源流から川の一生を体験しよう”をオリジナルバージョンとし、街中を流れる精進川流域をフィールドとして実施します。

その他、「海の日」、「山の日」にちなみ“磯遊びをとおして生命進化の神秘を探る”“化石発掘体験をとおして地球のダイナミックさを体感する” 2プログラムをスペシャルバージョンとして実施します。いずれの活動も科学的な観察や分析をとおして自然界の不思議な仕組みを理解し、更なる興味へと繋ぐプログラム構成といたします。

更に普及に係る活動の一環として進めている青山慎一先生の昆虫コレクション 10 万頭、多様な昆虫の世界を Web にて公開する「青山慎一先生の子ども世界の昆虫館」も開館 4 年目を迎えます。当財団の HP 訪問者の半数以上は昆虫館への訪問です。今年もチョウ目（鱗翅目）221 箱の公開をいたします。

以上のことを踏まえ事業計画を策定しました。

事業ごとの計画は、次頁以下のとおりです。

1、定款第4条第1項第1号に掲げる事業を次の計画により実施する。

(1) 自然体験活動の主催事業（公益目的事業1）

ア、活動名 「子どもまちなか生き物塾」

①オリジナルバージョン

(目的)

中の島地区を流れる精進川の自然を主なフィールドとし、守屋 開先生を主任講師として精進川の流域生態系を中心に自然界の“命のつながり”の仕組みを学びます。この体験を通して、生物多様性の重要性について関心と理解を深め、かけがえのない自然を、人間の知恵で、後世にのこせるように、何をなすべきなのか、子供たちと共に考えます。

●プログラムⅠ 精進川の自然に遊んで科学する

(活動のねらい)

街中を流れる精進川やその河畔林に生息する生物の観察・採集及び環境調査・土壌採取、分析をとおして、自然界の仕組み（命のつながり）や河川生態系について学び、自然を守り育てる大切さについて考えます。

○主任講師 守屋 開先生（日本生態学会員・日本陸水学会員）

○指導者 外部 2名、財団 3名

○募集人員 30名（子ども 25名、大人 5名）

○実施日 7月29日（土）

○活動場所 精進川（豊中公園沿い）、中の島小学校理科室

○主なプログラム

- ・水生生物等の観察・採集
- ・河畔林の環境調査・土壌採取
- ・生物の分析と同定、解説

●プログラムⅡ 精進川の源流から川の一生を体験しよう

(活動のねらい)

サクラマスの遡上も確認されている街中を流れる精進川の源流部から下流域までを探索しながら、豊平川の支流としての「川の一生」を体験します。一般的に、河川は源流部から下流まで河川勾配も緩やかになり、水量が増すとともに川幅が大きくなり、水質や生息生物も変化することを確認し、環境に適応して生息する生物について学びます。

○主任講師 守屋 開先生（日本生態学会員・日本陸水学会員）

○講師 梅原宏之先生（日本理化学協会会員）

○指導者 外部 2名、財団 2名

○募集人員 30名（子ども 25名、大人 5名）

○実施日 9月3日（日）

○活動場所 精進川の上流域、中流域、下流域（豊中公園沿い）

○主なプログラム

- ・環境調査及び川の一生体験
- ・水生生物等の採集
- ・カワシンジュガイの学習

## ②スペシャルバージョン

### ●山のスペシャル 化石発掘体験をとおして地球のダイナミックさを体感する

(活動のねらい)

沼田町の中心を南北に流れる幌新太刀別川（ほろにたちべつがわ）は、恐竜時代の中世代白亜紀から始まり、石炭を含む第三紀始新世、多様な哺乳類を生み出した第三紀中新世、そして海の哺乳類が爆発的に増えた第三紀鮮新世と時代を追って流れています。鮮新世（約五百万年前）のタカハシホタテ化石の発掘体験をとおして、地球のダイナミックな変動について体験します。

- 主任講師 岡本 研先生（東海大学札幌校特任教授・地質研究者）
- 現地講師 篠原 暁先生（沼田町化石館学芸員）
- 財団講師 宮嶋衛次先生（理事）
- 指導者 東海大学札幌校地学サークル学生 3名予定  
財団 2名
- 募集人員 30名
- 実施日 7月15日（土）
- 活動場所 沼田町幌新太刀別川、沼田町化石館
- 主なプログラム
  - ・化石発掘体験
  - ・化石のクリーニング
  - ・化石と地球変動のお話

### ●海のスペシャル 磯遊びをとおして生命進化の神秘を探る

(活動のねらい)

地球の生命史と生物の種類の多様性について、採集体験をしながら学習します。海にすんでいる様々な生物を観察すると、地球の自然や歴史、そしてなによりも生物の不思議さを体験します。採集した生物を、顕微鏡等を使って観察し、種類を調べながら、命のつながりについて学び、この地球上にいる生物の多様性がいかに必要か視野を広げたいと考えています。

- 主任講師 守屋 開先生（日本生態学会員・日本陸水学会員）
- 講師 高桑 純先生（日本生物教育学会会員）
- ・指導者 外部 1名、財団 3名
- 募集人員 30名（子ども 25名、大人 5名）
- 実施日 7月17日（月・海の日）
- 活動場所 北大忍路臨海実験所横の磯、北大忍路臨海実験所
- 主なプログラム
  - ・磯採集
  - ・採集した生物の同定
  - ・分類パズル、飼育法解説、生命進化についてのお話

イ、名義後援

- ・札幌市
- ・札幌市教育委員会

- ・中の島魅力ある地域づくりの会（オリジナルバージョンのみ）

ウ、協力

○オリジナルバージョン

- ・札幌市立中の島小学校 ・中の島一区第3町内会

○スペシャルバージョン

- ・山のスペシャル 沼田町化石館
- ・海のスペシャル 北大忍路臨海実験所

エ、募集対象

- ・小学1年生から6年生、中学生
- ・低学年は保護者同伴
- ・但し、化石発掘体験は小学3年以上の子どものみ

オ、募集方法 札幌市内小学校等へチラシ配布

(2) 普及活動

青山慎一先生の子ども世界の昆虫館

- ・標本のWeb追加公開221箱

アゲハチョウ	26箱
シジミ	15箱
シロチョウ	20箱
タテハチョウ	47箱
ジャノメチョウ	21箱
マダラ	33箱
ガ	59箱

以上